

I. 市原市産業振興ビジョン

1. ビジョン策定の趣旨

本市は、国内有数の工業地帯である京葉臨海工業地帯の中核都市として、日本の高度経済成長とともに発展してきた。

しかし、近年、本市の臨海部企業は、国際競争の激化や国内需要の縮小、設備の老朽化など様々な課題に直面している。このことから、本市が臨海部工業とともに今後も持続的に発展していくためには、企業が本市で操業しやすい環境を以前にも増して整備する必要がある。

また、市民の日常生活を支える地域産業においても、主体である中小企業の事業所数は減少傾向にあり、企業が社会経済環境の変化に対応していくためには、企業自らが主体的に取り組める環境づくりが重要となっている。

さらに、本市は農産物や里山・自然など、地域資源を多く有しており、これらの資源を最大限に活用していくためには、特産品を活用した観光イベントや消費者ニーズを捉えた農業の展開など、農業、商業、観光及び工業などの各産業の更なる連携が求められている。

このような状況を踏まえ、本市の産業の進むべき方向性や具体的な施策のあり方を示し、産業振興策を体系的、計画的に推進していくため、平成 26 年 5 月に「市原市産業振興ビジョン」を策定した。

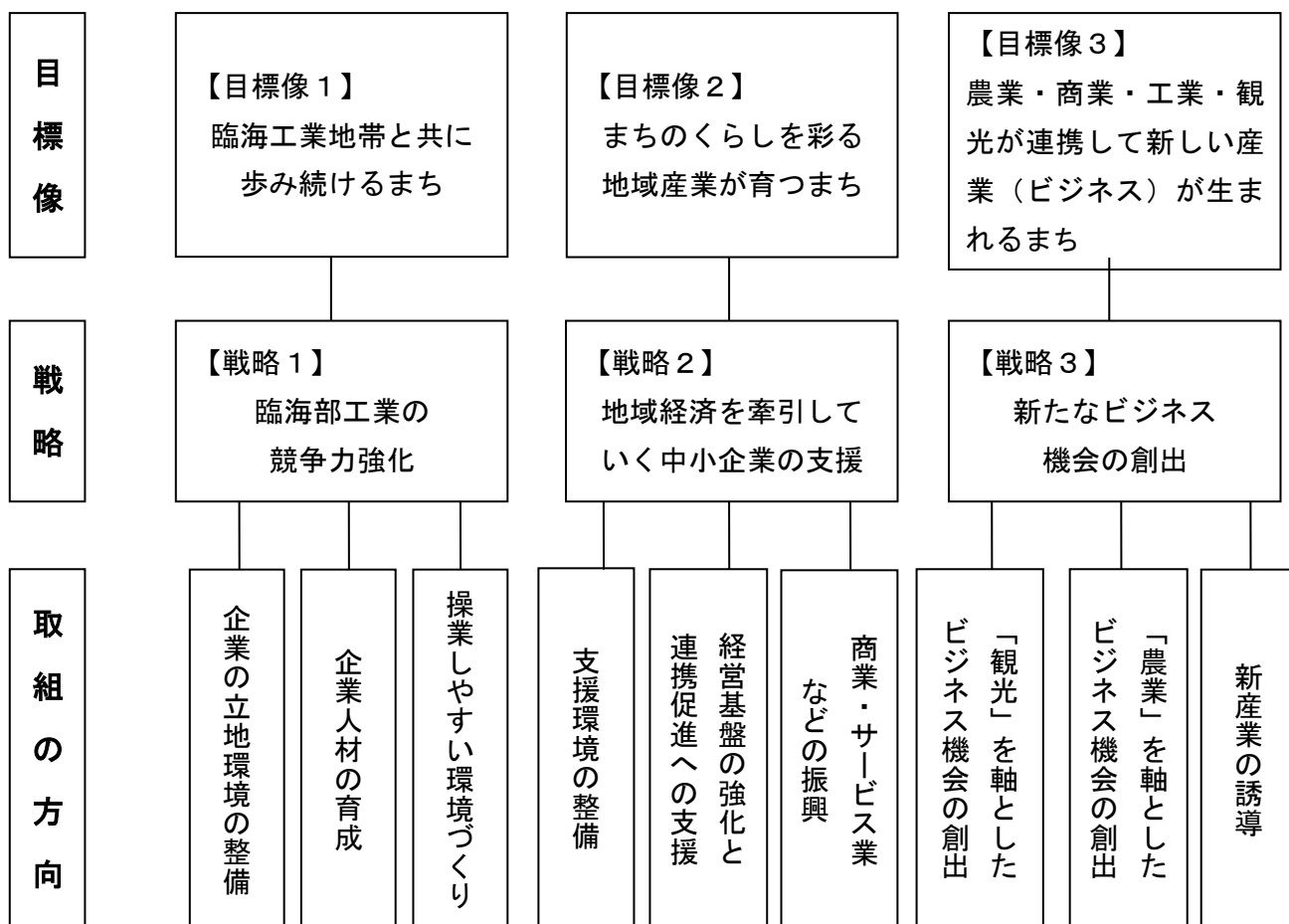
本ビジョンでは、「市民と企業が誇りを持って暮らし、まちの元気を創り出す」という基本理念のもとに、10 年後にこのようなまちであって欲しいという目標像として、「臨海工業地帯と共に歩み続けるまち」「まちの暮らしを彩る地域産業が育つまち」「農業・商業・工業・観光が連携して新しい産業（ビジネス）が生まれるまち」の 3 つを掲げ、実現に向けて戦略と取組の方向性を整理した。

また、平成 28 年度に「市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組や近隣自治体との広域連携など、新たな展開を組み入れ、「市原市総合計画（2017-2026）」の策定にあわせ、関連する市原市観光振興ビジョン、市原市農林業振興計画の各計画と整合を図りながら施策の見直し等の「市原市産業振興ビジョン」の改訂を行った。

2. 基本理念

市民と企業が誇りを持って暮らし、まちの元気を創り出す

3. 3つの目標像とそれらを実現するための戦略と主な取組



4. 市原市産業活性化会議

ビジョンで掲げた取組は、行政、企業、関係機関などがビジョン理念を共有し、連携しながら一体的に進める必要がある。

このため、学識経験者、関係者等で構成する「市原市産業活性化会議」を平成26年10月に設置し、施策の推進に向けた協議等を行っている。

なお、同会議は、ビジョンの施策を効果的かつ効率的に推進するため、「臨海部工業部門会議」と「地域産業部門会議」の2つの会議体を設けている。

